

平成 26 年度 第 1 回

八戸市地域包括支援センター運営協議会

日時：平成 26 年 7 月 9 日(水) 午後 1 時 30 分

場所：八戸市庁 本館 3 階 第一委員会室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 平成 25 年度地域包括支援センター事業報告について
- (2) 平成 26 年度地域包括支援センター事業計画について
- (3) その他

3. 閉 会

(1)

平成25年度 地域包括支援センター事業報告

1 地域包括支援センター運営協議会

月日	内容	出席者（人）
7月17日（水）	（1）平成24年度地域包括支援センター事業報告について （2）平成25年度地域包括支援センター事業計画について （3）その他	7

2 総合相談支援業務

（1）総合相談件数（年次別・内容別）

年度	内容	一般	困難	虐待	合計
24年度		824件	1,759件	562件	3,145件
25年度		765件	1,242件	494件	2,501件

※複数回対応した事例を困難事例として位置付けている。

○相談種別内訳

種別	相談内容種別（重複あり）								相談者（重複あり）					
	一人暮らし	認知症	精神疾患	住環境に問題	経済的問題	サービスの必要性	介護力の低下	その他 ※1	本人	家族	民生委員	在宅介護支援センター	ケアマネジャー	その他 ※2
24年度	1,046	1,285	782	514	613	1,009	812	966	523	812	51	306	455	677
25年度	707	1,015	509	337	368	699	639	864	397	737	38	276	402	538

※1 医療受診、後見人、施設入所 等

※2 病院、施設、近隣住民 等

（2）訪問及びケア会議回数

	訪問（自宅、病院、施設等）		ケア会議	
	24年度	25年度	24年度	25年度
回数（延べ）	528回	485回	108回	128回
対応時間	947.2h	800.7h	114.9h	119.6h

（3）成年後見制度相談件数

	24年度	25年度
相談件数	97件	103件
市長申し立て件数	3件	2件

(4) 八戸市高齢者虐待の取り組み状況

○虐待相談件数

(件)

	24年度	25年度
相談件数 (新規)	82	70
虐待件数 疑い含む	70	68
虐待有りと判断	50	24

○支援状況

(件)

	24年度	25年度
生活支援ハウス入所	0	1
福祉施設入所	2	6
入院	13	9
その他分離(引取り)	5	3
見守り・助言	50	48
計	70	68

(5) 八戸市における高齢者虐待の特徴(以下は虐待有りと判断した件数の内訳)

虐待の種別では、一つの虐待だけでなく複数の重複した虐待が特徴としてあげられ、被虐待者は、70歳代の女性が多く、その原因としては、認知症があり、病気の無理解から受診に繋がらず虐待にいたるケースがあげられる。

		24年度	25年度
虐待の分類		身体的 36件 放棄 9件 心理的 30件 経済的 14件	身体的 13件 放棄 4件 心理的 10件 経済的 4件
被虐待者	性別	54人中 女性 41人 男性 13人 ※夫婦で虐待を受けている場合は「虐待件数 1件・被虐待者 2名」としているため、件数と人数は一致しない。	24人中 女性 23人 男性 1人
	年齢	65～69歳 8人 70～74歳 12人 75～79歳 17人 80～84歳 10人 85～89歳 4人 90歳以上 3人 /54人中	65～69歳 2人 70～74歳 7人 75～79歳 6人 80～84歳 4人 85～89歳 4人 90歳以上 1人 /24人中
	介護度	自立 28人 申請中 2人 要支援 1人 要介護 23人 /54人中	自立 16人 申請中 0人 要支援 1人 要介護 7人 /24人中
	原因	認知症 21件 要介護 16件 共依存 7件 ※上位 3位まで掲載。	認知症 22件 要介護 10件 病気について無理解 6件 ※上位 3位まで掲載

養護者	続柄	息子 24人 夫 15人 妻 6人 ※上位3位まで掲載。	夫 20人 息子 17人 娘 3人 ※上位3位まで掲載
	養護者が抱える問題	精神疾患 19件 病気について無理解 15件 無職 12件 ※上位3位まで掲載 ※「無職」とは事例対応日の1年以上前から就業していないことを指す。	病気についての無理解 11件 介護負担 9件 依存症 6件 ※上位3位まで掲載

(6) 高齢者虐待対策ケース会議

高齢者虐待のネットワークを目指し、事例の検証や、関係する機関の連携援助、虐待防止のための市民への啓発活動等を検討する。

回数	月日	内容
第1回	平成25年6月18日	①平成24年度の八戸市における高齢者虐待の現状報告 ②介護支援専門員に対する意識調査報告 ③年間計画の検討と承認
第2回	平成25年8月7日	事例をもとに「早期相談を妨げていると考えられるもの」「その対策」についての意見を出し合った。
第3回	平成25年11月15日	事例をもとに「被虐待者が養護者による暴力行為等を警察に訴えないが、被虐待者自身が市に保護を求めてきた場合の対応」について意見を出し合った。
第4回	平成26年1月15日	平成25年11月25日に発生した青森市の事例を基に「適切な介入のタイミングや方法」「市・地域包括支援センター・警察・その他の資源や連携」「虐待を予防する方法」「八戸市で同様の事例が起きた場合の対処」について意見を出し合った。
第5回	平成26年3月5日	事例をもとに「虐待判断の妥当性」「被虐待者・養護者の支援体制」について検討し、意見を出し合った。

(7) 啓発活動

- 平成25年度八戸市高齢者虐待防止研修会開催（平成26年3月24日）
- 高齢者虐待防止出前講座（年2回）
- 高齢者・障がい者虐待防止実務研修会にシンポジストとして出席（平成25年11月8日）
- 高齢者虐待防止パンフレットの配布
- 成年後見制度に関するパンフレットの配布
- 八戸地域虐待等困難事例ネットワーク研究会開催への協力（年4回）

(8) 市民後見推進事業

認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な市民が成年後見制度を適切に利用できる仕組みづくりを進めるとともに、市民後見人が適切に活動できるよう支援し、権利擁護の推進を図る。

① 八戸市市民後見推進協議会の開催

委員：弁護士、司法書士、社会福祉士、学識経験者、社会福祉協議会
 オブザーバー：青森家庭裁判所

回数	月日	内容
第1回	平成25年5月27日	市民後見人フォローアップ研修会について 市民後見人の報酬付与について 市民後見人の保険加入について
第2回	平成25年11月28日	市民後見人推薦について 推薦者の面接・受任調整会議

○平成26年1月24日に審判があり、市民後見人として1名活動中。

② 八戸市市民後見人フォローアップ研修会

市民後見人候補者：28名

回数	月日	内容	出席者(人)
第1回	平成25年7月1日	事例報告「成年後見人の活動を知る」	20
第2回	平成25年7月30日	施設見学	9
		グループホーム 障がい者支援施設	9
第3回	平成25年9月25日	意見交換会「施設見学を通しての市民後見人の役割について」	18
第4回	平成25年11月6日	講義「障がい者制度について」	20
第5回	平成25年12月25日	講義「権利擁護」と「市民後見人の必要性について」	17
第6回	平成26年2月19日	講義「市民後見人の実務活動について」	17

平均出席率 65.5%

(9) 高齢者見守りネットワーク事業

見守りの必要な高齢者の変化に早めに気づき必要な支援を行なう為に、地域の活動を支える町内会、事業所などの関係機関によるネットワークを構築する。

①見守りネットワーク活動の普及・啓発

- ・民間事業所の見守り活動協力
- ・関係機関への見守り協力依頼 他

②高齢者見守りネットワーク連絡会

身近な町内単位で無理なく何気なく見守りや声掛けをして、緊急課題の早期発見や安否確認を行い、必要時に早期対応するシステムを作る。

設置町内：32町内（25年度新規立ちはげは2町内） 平成26年3月31日現在

活動内容：緊急連絡網作成、町内周知、ネットワーク新聞の回覧等

(10) 地域包括支援センター職員打ち合わせ会（年4回）

地域支援事業推進のためのランチ在宅介護支援センター職員との情報交換、意見交換及び課題の検討を行う。

内容：地域支援事業推進(介護予防教室、見守りネットワーク、二次予防事業、生活介護支援サポーター等)に向けたグループワーク、困難ケース事例検討等

出席者：地域包括支援センター職員、12在宅介護支援センター職員

2 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(1) 包括的支援事業研修会

在宅介護支援センター職員等が、地域包括ケアを推進するために必要な知識・技術を習得することにより、高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できるよう支援する。

月日	内容	講師	出席者(人)
10月24日(木)	高齢者に多い疾患の基礎知識と生活習慣病の予防について	八戸学院大学 人間健康学部 教授 遠藤 守人氏	89
12月18日(水)	在宅介護と介護サービスの連携 ～訪問看護の対象と支援内容について～	青森県訪問看護協議会 三八支部会員	107
1月21日(火)	困難事例におけるケースワーク	八戸市委託高齢者 精神保健福祉相談員 安田 真氏	81
合計			277

(2) ケアプラン作成指導研修会

①ケアプラン作成指導研修に関すること

包括的・継続的マネジメント事業を効果的に推進するため、根拠を明確にしたケアプラン作成方法を学び、ケアプランの充実、さらには八戸市全体のケアマネジメントの質向上につなげる為の研修会を開催する。

月日	内容	講師	出席者(人)
10月10日(水)	「根拠を可視化するケアプランを作成するために」 —2015年の介護保険制度改正・ケアマネジメント見直しに向けて—	東洋大学 ライフデザイン学部 准教授 高野龍昭氏	59

②地域ケアマネジメント事例学習会に関すること

市内の介護支援専門員のアセスメント力向上を目指し、事例学習会開催が地域で定着するよう支援する。

○ケアマネジメント事例学習会

チーム	日時		会場	参加者(人)
A:市川、根岸、下長、上長、 豊崎	9月10日	17:00~19:00	ハピネスやくら	20
	10月4日	17:00~19:00	ほっとハウス	19

B: 柏崎、吹上 長者、白山台、 小中野、江陽、	9月13日	17:00~19:00	りんごっこ寿楽荘	18
	10月11日	17:00~19:00	りんごっこ寿楽荘	18
C: 根城、是川、三八城、南郷	5月16日	18:15~19:45	ひばりの里デｲｰﾋﾞﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	27
	6月14日	18:15~19:45	ひばりの里デｲｰﾋﾞﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	20
	10月17日	18:15~19:45	デｲｰﾋﾞﾝｸﾞｾﾝﾀｰみやぎ	28
D: 大館、東、白銀、湊、鮫、 南浜	7月12日	17:00~19:00	福寿草デイサービス	39
	10月11日	17:00~19:00	妙水苑デイサービス	35
合計				207

○報告会

日時	内容	出席者
平成26年3月18日	平成25年度 事例学習会リーダー打ち合わせ会議 ・事例学習会開催報告 ・平成26年度活動について	八戸市内居宅介護支援事業 所の主任介護支援専門員 10人

(3) 医療と介護の連携意見交換会

医療と介護のより円滑な連携を支援するために、ケアマネジャー代表と医療機関連携担当者
訪問看護ステーション看護師、薬局薬剤師、当職員との意見交換会を開催する。

	開催日	内容	出席数(人)
第1回	平成25年 11月13日	病院医療連携室担当者と介護支援専門員、訪問 看護ステーション看護師、薬剤師との連携 ・アンケート結果について ・アンケートから見えた課題について	病院 3 訪問看護師 3 ケアマネジャー 8 薬剤師 3 高齢福祉課 5 計 22
第2回	平成26年 2月12日	病院医療連携室担当者と介護支援専門員、訪問看 護ステーション看護師、薬剤師との連携 ・アンケート結果について ・アンケートから見えた課題について	病院 18 訪問看護師 2 ケアマネジャー 6 薬剤師 2 高齢福祉課 5 計 33

(4) 介護支援専門員個別支援に関すること

○介護支援専門員が担当している困難ケースの相談に対する支援

平成 25 年度相談件数：106 件（うち新規 43 件、継続 63 件）

○ 相談件数の介護度別内訳（件）

介護度 なし	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
3	5	15	25	29	18	6	5	106

○ 相談内容（重複あり）

独居	認知	家族	経済	精神	サービス	環境	虐待	後見	その他
15	63	52	24	20	44	11	29	9	9

※その他…成年後見制度について、介護サービス・その他のサービスについて等

○ 対応（重複あり）

助言	訪問	ケース会議	その他
76	32	25	1

3 介護予防ケアマネジメント業務

(1) 平成 25 年度 月別要支援認定者数（人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
要支援1	493	495	489	477	484	465	480	490	497	496	497	493	5,856
要支援2	926	926	929	945	918	921	928	938	951	971	969	965	11,287
計	1,419	1,421	1,418	1,422	1,402	1,386	1,408	1,428	1,448	1,467	1,466	1,458	17,143

(2) 介護予防支援 給付管理数（年間件数）

	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
委託事業所	7,305 件	6,936 件	7,070 件	8,057 件
包括支援センター	3,707 件	4,119 件	4,345 件	4,349 件
合計	11,012 件	11,055 件	11,415 件	12,406 件

4 介護予防事業

(1) 二次予防事業対象者把握について

22 年度途中から国の要綱が改正され、特定高齢者の名称から二次予防事業対象者（※1）へと名称が変更になり、その把握方法についても変更となる。

23 年度から 3 年間かけて、要介護認定を受けていない全高齢者を対象に、25 項目の基本チェックリストを含む調査票を郵送し、その結果から二次予防事業対象者を決定する。

※1 二次予防事業対象者：生活機能の低下があるため、要支援・要介護となるおそれのある高齢者

○二次予防事業対象者把握

	23年度	24年度	25年度
地区	湊、江陽、根城、鮫、大館、長者、豊崎→7地区	柏崎・中居林・小中野・白銀・南浜・下長・館・市川・南郷→9地区	根岸・三八城・上長・吹上・是川・田面木・東・白銀南・白山台→9地区
郵送数	14,506人	16,135人	16,925人
有効回答数	11,983人	12,496人	13,311人
回収率	82.6%	77.4%	78.6%
二次予防事業対象者数	4,416人(36.9%)	4,450人(35.6%)	4,448人(33.4%)

<二次予防事業対象者総数> (人)

	23年度	24年度	25年度
調査票	4,416	4,450	4,448
介護保険非該当	8	5	16
合計	4,424	4,455	4,464

<郵送した地区ごとの二次予防事業対象者の状況> (人) 平成25年度

地区別	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 74歳	75歳 ～ 79歳	80歳 ～ 84歳	85歳 以上	計
根岸	85	92	86	51	36	350
三八城	149	150	161	120	69	649
上長	109	109	122	90	51	481
吹上	144	147	172	128	83	674
是川	85	94	92	45	27	343
田面木	82	88	94	58	20	342
東	173	201	223	122	66	785
白銀南	152	167	156	102	50	627
白山台	54	48	51	28	16	197
計	1,033	1,096	1,157	744	418	4,448

(2) 3年間のまとめ

①実施期間：対象者を地区別に平成23年度から25年度の3年間に分けて実施した。

②対象者：八戸市に住む65歳以上の高齢者（要支援・要介護認定者を除く）

③配布数：47,566人

④有効回答者数：37,790人（有効回答率 79.4%）

⑤二次予防事業対象者数：13,314人（出現率 35.2%）

前期高齢者・後期高齢者別に出現率を見ると、前期高齢者では26.5%だが、後期高齢者では48.5%と倍増している。男女別で見ると男性は30.5%、女性は38.9%で女性が男性を8.4%上回っている。

⑥全体を通しての結果

前期高齢期には、介護予防の必要性の普及・啓発、各機能低下の予防を目的に、リスク出現率が高まる後期高齢期には、各機能の低下予防と改善を目的に、継続的に参加できる取り組みを実施していく必要がある。

(3) 通所型介護予防事業、訪問型介護予防事業について

		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
特定高齢者		1,238人	662人	477人	563人	—		—	
二次予防事業対象者		—	—	—	—	4,424人	4,450人	4,448人	
事業参加者	通所型	運動機能向上	15人	28人	28人	48人	76人	175人	180人
		口腔機能向上	1人	2人	1人	—	—	—	—
		栄養改善	—	—	—	—	—	—	—
		総合型介護予防	—	—	—	—	3人	5人	—
		認知症予防	—	—	—	—	4人	6人	28人
	訪問型	—	—	—	—	—	—	—	
計		16人	30人	29人	48人	83人	186人	208人	

(4) 地域回想法による介護予防推進事業

懐かしい写真や生活用具を用いて自分自身が体験したことを語り合ったり、過去のことを思いめぐらす「回想法」を通じて、高齢者が自らの介護予防に取り組む必要性を理解し、地域において自発的な介護予防の活動が実践できるよう支援する。

① 一次予防事業対象者（※2）への地域回想法

ア) 在宅介護支援センターによる地域回想法

在宅介護支援センターが、7地区（白銀、南浜、長者、柏崎、南郷、根城、江陽）の一次予防事業対象者51人に対し、2ヶ月間（週1回、計8回）実施。毎週「遊びのおもいで」「お手伝いのおもいで」「おやつのおもいで」等様々なテーマに沿って、参加者が過去のこ

とを思い巡らし、語りあう。

※2 一次予防事業対象者：65歳以上の元気な高齢者

イ) 介護予防教室でのおためし回想法

在宅介護支援センターが開催する介護予防教室内で、回想法を体験する機会としておためし回想法を実施する。「遊びのおもいで」、「小学校の思い出」等をテーマに16回実施し、264人が参加する。

5 任意事業

(1) キャラバン・メイトの支援及び認知症サポーター養成講座

① キャラバン・メイトの支援

ア) キャラバン・メイトフォローアップ研修の開催

- ・開催日時：平成26年2月13日（木）
- ・講演「地域で支え合う仕組みづくりに認知症サポーターを生かす方法」
- ・講師：羽後町地域包括支援センター 社会福祉士 伊藤 和恵 氏
- ・目的：認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、効果的な認知症サポーター養成講座開催に向けて知識の普及を行い、キャラバン・メイト同士の連携を深めることを目的とする。
- ・出席者：八戸市内キャラバン・メイト 32名

イ) ボランティア保険の加入

- ・認知症サポーター養成講座開催時の事故等に備えるため、八戸市内のキャラバン・メイトに対し、社会福祉協議会で実施しているボランティア保険に加入する。
- ・加入者：八戸市内キャラバン・メイト 49名
- ・補償期間：平成25年6月7日～平成26年3月31日

② 認知症サポーター養成数

○平成25年度までの認知症サポーター養成数実績

	18～20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	合計
講座開催数	41回	42回	54回	38回	32回	28回	235回
サポーター数	1,686人	1,394人	1,987人	1,663人	1,209人	887人	8,826人
キャラバンメイト 従事者数(延)	58人	106人	127人	87人	81人	69人	528人

※平成25年度末までの認知症サポーター養成目標数：10,000人（目標達成率：88.3%）

○平成25年度 認知症サポーター内訳

	一般住民	職域	学校	合計
サポーター数	467人	94人	329人	890人
割合	52.5%	10.6%	36.9%	100%

※平成 25 年度の特徴

- ・キャラバン・メイトが自主的に講座を企画し、開催した講座は全体の約 57%である。
 - ・職域では、警察、郵便局での講座開催、他に市職員・市議会議員対象に講座を開催した。
 - ・小学校では旭ヶ丘小 5 年生、田面木小学校 4 年生、三条小学校 5・6 年生、中学校では白銀中学校で開催した。
- 他に八戸工業大学第二高等学校、社会福祉専門学校でも開催した。

(2) 認知症フォーラム

認知症の正しい理解と、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの重要性を意識づける機会のほか、認知症に関わる各種団体が連携を図る重要性を知る機会として開催する。

日時：9月8日（日）10：00～16：00

場所：八戸市公会堂文化ホール及び八戸市公民館各会議室

主催：八戸市 受託者：公益社団法人 認知症の人と家族の会青森県支部

共催：株式会社エーザイ

後援：八戸市医師会、八戸歯科医師会、八戸地域介護サービス協議会、八戸地区認知症高齢者グループホーム協議会

来所総数：481人

- ・午前の部：講演 「認知症になった“わたし”からのメッセージ」

講師 佐藤 雅彦 氏

聴講者：251名

- ・午後の部：講演「もの忘れ外来から見える地域とのつながり」

講師 弘前大学大学院教授 東海林 幹夫 氏

シンポジウム「ドクターからのメッセージ～地域で支える“認知症”～」

シンポジスト はちのへファミリークリニック 小倉和也 氏

あおもりデンタルケア 宮川聡文 氏

八戸市高齢福祉課 長谷川恭子

聴講者：230人

講演、シンポジウムのほか、認知症に関する情報や、家族の会活動紹介コーナー、医療や介護の相談コーナーを設置した。

(3) 定住自立圏八戸市あんしんカード事業

八戸市内に住むおむね 65 歳以上で、認知症等により徘徊して自宅に帰ることができなくなるおそれがある方の早期保護を目指す。

概要：徘徊して自宅に帰ることができなくなるおそれがある高齢者の情報を、事前に八戸市に登録。登録者には登録番号を載せたカードを交付し、登録情報は八戸警察署に提供。平成 24 年度からは八戸圏域定住自立圏の事業となり、八戸市を含む周辺 8 市町村で実施し

ている。

八戸市登録者数：160人（平成26年3月31日現在）

（4）高齢者生活支援サポーターの養成活用

平成21年度から2か所の在宅介護支援センターに委託して、高齢者生活支援サポーターを養成し、地域で高齢者の生活を支えるシステムを構築する。

① 養成

日時	地区	内容	出席者（人）
11月7・14・21日	江陽・小中野	＜講義・実技＞ ・地域包括支援センターについて ・守秘義務について ・高齢者の基礎知識、擬似体験 ・コミュニケーションについて	11
2月12・19・26日 3月5日	湊・白銀		9

② 活用

○サポーター登録者数 50人（H26.3月末）

○平成25年度の活動人数 128人

支援内容：介護予防教室の手伝い、灯油入れ、話し相手、雪かき等

6 その他

グループホーム運営推進会議出席

24年4月～25年3月 9箇所・18回のグループホーム運営推進会議へ出席する。

平成25年度 高齢者保健福祉サービスに関する啓発活動

	開催月日 時 間 場 所	テ-マ	方法	参加対象者	人数	従事者
1	25年4月22日(月) 15:00~15:50 八戸グランドホテル	○八戸市地域包括支援センターの役割	講義	八戸市友会	38	中居
2	25年4月23日(火) 10:45~11:30 八戸市総合福祉会館	○市民が支える権利擁護 ~市民後見人の養成~	講義	八戸市社会福祉協議 会役員及び職員	40	長谷川
3	25年6月21日(金) 10:00~11:30 三八地域県民局地域健康福祉 部保健総室 大会議室	○八戸市で行っている認知症予防の取り 組みについて	講義	八戸地域認知症を抱 える家族の会「やさし い手の会」	20	三浦
4	25年7月14日(日) 13:00~14:40 八戸市福祉公民館	○八戸市地域包括支援センターについて ○認知症予防について	講義	八戸市ろうあ協会 老壮年部	26	十文字
5	25年7月18日(木) 13:10~14:40 八戸市立高等看護学院	○高齢者の自立した生活を支援する地 域保健活動の実際	講義	八戸市立 高等看護学院 2学年	45	万谷
6	25年8月27日(火) 13:30~15:10 八戸市福祉公民館	○高齢化社会に生きる	講義	あおもり県民カレッジ 三八学友会	27	山村
7	25年9月11日(水) 13:30~14:45 八幡漁業ビル3階	○八戸市地域包括支援センターについて ○介護予防について	講義	全国海友婦人会 八戸支部	21	佐々木
8	25年10月17日(木) 10:00~11:40 大館公民館	○要介護申請の方法及び留意点につい て ○介護予防について ~生活機能を維持するために~	講義	ほのぼの交流協力員 民生委員	72	佐々木
9	25年10月18日(金) 18:00~19:00 はちふくプラザねじょう	○成年後見制度について	講義	八戸圏域の在宅介護 支援センター職員	20	島田
10	25年10月30日(金) 18:30~20:00 八戸市福祉公民館	○高齢者虐待の防止について ヘルパー ができること	講義	八戸圏域のヘルパー 事業所職員	40	島田
11	25年11月8日(金) 10:00~12:00 はちふくプラザねじょう	○介護保険制度と八戸市地域包括支援 センターの役割	講義	八戸市鷗盟大学 1年生	72	中居
12	25年11月23日(土) 13:00~15:00 八戸学院大学・八戸学院短期 大学総合実習館	○相談援助の基盤と福祉専門職	講義	4年生 1名 3年生 2名	3	島田
13	25年11月8日(金) 10:30~14:40 青森国際ホテル	○高齢者・障がい者虐待防止実務研修 会	事例提供者 シンポジスト	青森県社会福祉士	60	島田
14	25年12月17日(火) 10:00~11:00 湊公民館	○1年後の自分を考えよう ~介護予防特に転倒予防について~	講義	湊地区高齢者サロン 「響きの会」	40	中居

	開催月日 時間 場所	テーマ	方法	参加対象者	人数	従事者
15	26年1月18日(土) 14:00~15:00 吹上公民館	○始めよう！介護予防	講義	青森県重症心身障害 児(者)を守る会東分 化会会員	20	中居
16	26年2月4日(火) 11:00~17:00 ホテル青森 3階 孔雀の間	○青森県介護予防従事者研修会	講義	指導者研修受講者の 一部	300	長谷川
17	26年2月27日(木) 12:00~13:30 八戸パークホテル	○高齢者虐待の実態と予防について	講義	国際ソロプチミスト 八戸	26	夏堀
18	26年3月10日(月) 17:15~18:00 八戸赤十字病院	○八戸市における認知症の取り組み	講義	八戸赤十字病院職員	46	三浦
19	5月~2月 5回		講義	地区老人クラブ 連合会	227	包括支援 センター 保健師
20	5月~7月 9回		講義	地区民生委員 児童委員協議会	176	包括支援 センター 職員
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
計	32回				1,319人	

在宅介護支援センター推進事業 実績比較(平成24年度、平成25年度)

在宅介護支援センター名	年度	総合相談(件)	実態把握(人)				介護予防プラン作成(件)	介護予防教室(回)	ボランティア育成・活用(回)		見守りネットワーク(回)		その他民生委員定例会等(回)
			二次予防事業対象者		一次予防事業対象者	計			育成	活用	地域	個人	
			リスト	リスト以外									
寿楽荘	24	1,008	2	42	141	185	185	54	4	29	14	0	49
	25	974	25	34	184	243	243	47	3	32	8	0	41
たえみ	24	511	51	41	149	241	241	35	1	25	6	1	28
	25	520	24	68	149	241	241	41	1	28	5	0	27
みやぎ	24	821	126	61	65	252	252	36	0	8	0	0	20
	25	712	105	90	47	242	242	38	0	21	0	0	24
ちょうじゃの森	24	1,099	62	66	112	240	240	24	2	25	0	1	23
	25	886	59	64	117	240	240	24	1	24	0	0	22
医師会	24	1,113	38	127	79	244	260	28	1	33	0	1	28
	25	1,457	12	168	83	263	263	28	1	25	0	0	28
アクティブ24	24	722	120	79	47	246	246	43	1	28	4	0	20
	25	655	16	140	86	242	242	37	4	24	3	0	13
福寿草	24	748	18	87	145	250	250	59	0	28	11	0	35
	25	651	3	77	163	243	243	62	0	28	12	0	32
八戸グリーンハイツ	24	2,233	172	377	36	585	585	21	0	17	2	0	2
	25	1,404	91	160	247	498	498	22	6	22	1	0	3
はくじゅ	24	706	81	106	115	302	302	28	2	25	0	0	15
	25	625	109	103	112	324	324	38	0	35	0	0	23
修光園	24	1,363	64	67	192	323	323	31	1	47	1	0	23
	25	962	79	93	152	324	324	36	0	38	0	1	15
瑞光園	24	1,730	170	128	414	712	712	25	4	16	10	0	8
	25	1,684	92	221	526	839	839	26	0	16	10	0	8
なんろく	24	442	48	66	126	240	240	11	0	0	0	0	11
	25	445	53	57	131	241	241	13	0	0	0	0	13
計	24	12,496	952	1,247	1,621	3,820	3,836	395	16	281	48	3	262
	25	10,975	668	1,275	1,997	3,940	3,940	412	16	293	39	1	249

平成25年度 在宅介護支援センター推進事業に関する自己評価

<総合相談>

○民生委員をはじめ、地域からの相談が増加した。
○地区住民、民生委員、保健師等から気にかかるケース等の連絡、相談が年々増えてきた。訪問、確認し必要なサービス機会につなげていきたい。
○認知症問題やアルコール問題などの困難ケースに対応した。地域包括支援センターや民生委員など、各関係機関との連携がうまくいき、医療や介護サービスにつなげることができた。

<実態把握・介護予防プラン>

○実態把握と介護予防プランの作成については、二次予防事業の訪問を中心に、リスクの高い高齢者を優先して訪問を行った。二次予防事業利用者には、個々のニーズに合わせて適切な予防プランの作成ができた。
○実態把握、介護予防プランについては、訪問の計画通り進めることはできなかったが、目標件数を達することができた。民生委員や老人クラブ役員、ほのぼの交流協力員等の地域との情報共有に努め、見守りや訪問につなげることに努めた。
○より地域を知るため、自分の足で歩くことが第一と考え、訪問はもちろん、地区行事や民生委員定例会等なるべく地域に出ることを心がけた。

<介護予防教室>

○介護予防教室については新規で開催できた町内もあった一方で、同じ町内での開催が多く、偏りのある結果となった。
○介護予防教室は、民生委員、地区社協等、老人クラブ等と連携し、定期的に行える地区が増えた。内容については、認知症予防と筋力低下に重点を置き、参加者が、自宅に帰った後も、楽しんで取り組めることを考えて実施している。また低栄養予防や口腔機能向上についても実施し、好評が得られ今後もバリエーションを増やして欲しいとの要望もいただいた。
○老人クラブや町内会からの介護予防教室の依頼も増えた。
○地域回想法普及事業を実施。準備や調整だけでなく、今後の活動に向けた働きかけも行い、スケジュールの管理が困難だった。今回の地域回想法で学んだ知識・経験・展開方法や参加者へのアプローチ方法を来年度の地域回想法実践に活用していきたい。

<見守りネットワーク>

○見守りネットワークの立上げについては、町内会で説明したが、理解を得るには至っていない。
○普段から地域との繋がりを大切にすることが重要であり、見守りや孤独死防止、介護予防に直結していると言っても過言でないと考える。急速に高齢化が進む中、孤独死防止もひとつの課題として挙げられる。そのため、見守りネットワークの周知を図っていかなければならない。
○今年度の困難事例は、民生委員やご近所からの情報提供により発見、支援が開始し、地区や町内で個別的な見守り体制ができていることを感じた。在介として地域力を高める一助として協力していきたい。

<ボランティア育成・活用>

○高齢者支援サポーター養成講座を開催し、地域サポーターを養成した。この方々をうまくコーディネートし、高齢者が安心して地域で暮らしていけるシステム構築を目指していかなければならない。
○介護予防教室とボランティア育成・活用については、地域のニーズをヒアリングし、地域住民と一体となった教室運営を心がけた。悪天候により中止した場合については後日再度計画した。
○ボランティアの活用については、地区で認知症サポーター養成講座を実施している。徘徊模擬訓練を実施し、小学生にも参加してもらった。

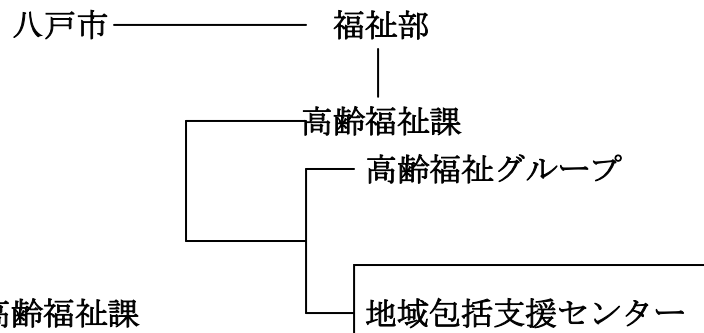
(2)平成26年度 地域包括支援センター事業計画

平成 26 年度八戸市地域包括支援センター体制

1 設置概要

1) 設置 : 八戸市 1 箇所

2) 施設設備 : 配置 : 福祉部 高齢福祉課 地域包括支援センター



3) 事務室 : 高齢福祉課

4) 相談室 : 市庁別館 1 階 地域包括支援センター相談室
 地域包括支援センター分室

- 24 時間体制 : ① 高齢福祉課 緊急初動体制に基づき対応する。
 ② 協力機関の在宅介護支援センター (12 箇所) が 24 時間体制をとっている。

2 職員配置状況

職 種	常 勤	非常勤	合 計
保健師	6		6
主任介護支援専門員	2		2
社会福祉士	3		3
看護師		1	1
社会福祉主事		1	1
介護支援専門員		10	10
事務	1	1	2
合 計	12	13	25

※ (有) ひかり介護支援事業所に高齢者虐待及び精神保健福祉問題等対応支援業務を委託している

【 平成26年度八戸市地域包括支援センター 担当地区分担表 】

平成26年6月9日

八戸市地域包括支援センター		総括	中居 裕子	連絡先: TEL43-2111 (内線263・396・360・380・588・395)
チーム	地域包括支援センター		在宅介護支援センター	担当地区
A チ ーム	◎山村 由希子 (保)	高橋 文香 (看・介)	八戸市医師会 立崎 公章 青木 せつ TEL 71-2251	柏崎
				吹上
	江渡 聡子 (保)	手倉森 悠 (介・介)	みやぎ 杉下 由紀恵 TEL 71-2271	三八城
				根城
	島田 拓巳 (社)	佐々木 範子 (看・介)	ちようじやの森 大山 陽子 TEL 46-3775	長者
	蛸名 葵 (社)	助川 幸子 (看・介)		白山台
B チ ーム	◎ 十文字 崇子 (保)	吉田 久美子 (介・介)	修光園 木村 順悦 TEL 96-6507	中居林
				是川
	佐々木 美咲 (保)	平葭 優貴子 (看)	福寿草 瀧音 慎 TEL 25-0100	大館
				東
	中坂 和裕 (介)	山田 万輝 (社主)	瑞光園 佐々木 神治 TEL 25-7558	南浜
				鮫
坂上 律子 (介・介)	坂上 律子 (介・介)	アクティブ24 吉田 由美子 TEL 45-3000	白銀南	
			小中野	
C チ ーム	◎ 夏堀 愛子 (社)	澤頭 ひろみ (看・介)	寿楽荘 川井 智子 尾坪 美恵子 TEL 52-8000	市川
				根岸
	酒井 明美 (介)	中村 優子 (歯・介)	たえみ 是川 幸恵 福士 一 TEL 22-4760	田面木
				館
	畑中 さおり (保)	中里 和江 (看・介)	はくじゅ 松井 淳平 TEL 20-4400	豊崎
				下長
工藤 真結美 (社・精・介)	工藤 真結美 (社・精・介)	グリーンハイツ 清水 友康 吉田 郁子 TEL 31-0521	上長	
			湊	
全体事務	竹井 秀帆(主査) 岩澤 睦子			白銀
応援体制	AはBに依頼 BはCに依頼 CはAに依頼			

平成26年度八戸市地域包括支援センター 業務分担

平成26年4月1日

事業計画	業務内容	主担	副担当
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域包括支援センターの総括 ○ センターの予算に関すること ○ 議会に関すること ○ 各関係機関との連携及び調整に関すること ○ 青森県地域包括・在宅介護支援センター協議会に関すること ○ 講師派遣依頼への対応に関すること ○ 各種外部会議への対応に関すること ○ 老人ホーム入所判定会議に関すること ○ 実習生の受け入れに関すること ○ 指定介護予防支援事業の統括 ○ 非常勤在宅介護指導員に関すること 	中居裕子	夏堀愛子 山村由希子
センター運営	○ 地域包括支援センター運営協議会に関すること（事務以外）	山村由希子	夏堀
	○ 指定介護予防支援（給付管理等）事業に関すること	酒井明美	中坂、竹井、坂上
	○ 地域包括支援センター体制に関すること	竹井秀帆	酒井、山村、
	○ 業務実績集計	蛭名葵	畑中
プラント在介に関すること	総合相談、介護予防、介護予防ケアマネジメント	○ 在宅介護支援センター推進事業に関すること	山村由希子 酒井 佐々木
	総合相談	○ 見守りネットワーク構築に関すること	江渡聡子 佐々木 畑中
		○ 生活介護支援サポーターに関すること	江渡聡子 山村
○ 被災者訪問に関すること		江渡聡子 所長	
介護予防ケアマネジメント	ケアマネジメント、介護予防	○ 二次予防事業に関すること〔ケアプラン、通所・訪問型介護予防事業〕	十文字崇子 酒井 山村
		○ 二次予防事業対象者把握事業に関する事務	蛭名葵 畑中
介護予防普及啓発	介護予防、総合相談	○ 介護予防事業普及啓発（民児協対応含む）に関すること	山村由希子 十文字
	介護予防	○ 地域回想法に関すること	佐々木美咲 畑中 山村
	任意	○ 認知症サポーターの養成に関すること	畑中さおり 江渡、佐々木
		○ 認知症フォーラムに関すること	畑中さおり 佐々木
		○ 認知症講演会	佐々木美咲 所長
○ 介護・認知症予防センター		山村由希子 畑中	
包括的・継続的ケアマネジメント	任意	○ 包括的支援事業研修会に関すること	佐々木美咲 酒井 坂上
		○ 医療と介護の連携意見交換会に関すること	中坂和裕 酒井 坂上
		○ ケマネジメント事例学習会	酒井明美 中坂
		○ ケアプラン作成指導者研修会	酒井明美 中坂 坂上
		○ 地域ケア会議（地域ケア個別会議）	中坂和裕 酒井 山村 坂上
総合相談支援	権利擁護	○ 市民後見人に関すること（市民後見推進協議会、市民後見人フォローアップ研修、受任調整に関すること）	夏堀愛子 島田、蛭名、
		○ 成年後見制度に関すること（市長申立ておよび集計に関すること）	島田拓巳 夏堀 蛭名
		○ 成年後見制度に関すること（相談）	夏堀愛子 島田 蛭名
		○ （仮称）八戸市高齢・障がい者支援ネットワーク会議および（仮）虐待事例判定会議に関すること	島田拓巳 夏堀、蛭名、
		○ 高齢者虐待防止法に基づく措置に関すること	島田拓巳 蛭名
		○ 高齢者虐待防止研修会に関すること	蛭名葵 夏堀 □
		○ 虐待事例検討会および高齢者虐待相談報告に関すること	夏堀愛子 島田
		○ 権利擁護センター	島田拓巳 夏堀
	任意	○ 定住自立圏 八戸市あんしんカード事業	蛭名葵 夏堀

定住自立 圏事業	包括的・継続的 マネジメント	○ (定住) 合同研修会	畑中さおり	山村、佐々 木、十文字、 江渡
事務		○ 文書の保管・保存に関すること	竹井秀帆	蛭名
		○ 予算に関すること(地域支援事業)		
		○ 各種契約事務		
		○ 地域包括支援センター運営協議会関係事務		
		○ 地域包括支援センターシステム管理		
		○ 第6期八戸市高齢者福祉計画に関すること		
		○ 生きがい活動支援通所事業、軽度生活援助事業に関すること		
		○ 車両に関すること		
○ ネットワーク連絡員	竹井秀帆	中坂		
○ 通所形介護予防事業(運動機能向上、口腔機能向上、総合型介 護予防、栄養改善、認知症予防)	十文字崇子	畑中		
○ 指定介護予防支援(契約等)事務	竹井秀帆	蛭名		
○ 広報ディレクター	佐々木美咲	江渡		
○ 生活支援ハウスに関する事務	十文字崇子	中坂		
○ 頸松館に関する事務	中坂和裕	島田		

平成26年度 八戸市地域包括支援センター事業計画

1. 目的

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。

2. 目標

- (1) 高齢者が安心安全に暮らせる環境づくりに努める
- (2) 介護予防の普及啓発を図る
- (3) 増加する認知症者の対策を図る
- (4) 高齢者の権利擁護に努める

3. 基本機能

- (1) 共通的支援基盤構築
- (2) 総合相談支援・権利擁護
- (3) 包括的・継続的マネジメント
- (4) 介護予防ケアマネジメント

4. 事業実施計画

(1) 共通的支援基盤事業

- ① 地域包括支援ネットワークの構築
- ② 地域包括支援センター運営協議会 年1回
- ③ 地域住民に対する広報 パンフレット作成
- ④ 地区民生委員・児童委員定例会での包括支援センター説明 25地区中14地区

(2) 総合相談支援業務

- ① 在宅介護支援センター推進事業(実態把握) 年2880件(委託)
- ② 総合相談
- ③ 高齢者見守りネットワーク連絡会の設置
- ④ 地域ケア個別会議
- ⑤ 地域包括支援センター関係職員打ち合わせ会 年3回

(3) 権利擁護業務

- ① 虐待への対応（随時）
- ② 高齢者あんしん相談窓口での相談（随時）
- ③ (仮)高齢者・障がい者支援ネットワーク会議 年 4 回
- ④ 虐待ケア会議（随時）
- ⑤ 高齢者虐待防止出前講座
- ⑥ 高齢者虐待防止研修会 年 1 回
- ⑦ 成年後見制度の活用
- ⑧ 市民後見推進事業
- ⑨ 権利擁護センター

(4) 包括的・継続的マネジメント

- ① 包括的・継続的なケア体制の構築
- ② 医療と介護の連携意見交換会 年 2 回
- ③ 地域におけるケアマネジャーのネットワーク構築
- ④ 包括的支援事業研修会 年 3 回
- ⑤ 地域ケアマネジャー事例検討会開催支援
- ⑥ ケアプラン作成指導研修会 年 1 回

(5) 介護予防マネジメント業務

- ① 要介護のおそれのある高齢者（二次予防事業対象者）の介護予防ケアプラン作成
- ② 予防給付に関するケアプラン作成
 - a. 要支援 1・2 の介護予防マネジメント 1,000 件以上

(6) 介護予防事業

- ① 二次予防事業
 - a. 通所型介護予防事業
 - b. 訪問型介護予防事業
- ② 一時予防事業
 - a. 介護予防の普及啓発
 - ・在宅介護支援センター推進事業(介護予防普及啓発)
 - ・地区老人クラブ連合会会員等の介護予防教室
 - ・二次予防事業対象者把握事業における介護予防普及啓発
- ③ 地域介護予防活動支援事業
 - a. 地域回想法実践報告会
 - b. 地域回想法
- ④ 介護・認知症予防センター設置計画作成

(7) 任意事業

- ① 認知症高齢者見守り事業
 - a) 認知症サポーター養成講座普及事務局
 - b) 認知症サポーターフォローアップ研修会 年1回
 - c) キャラバンメイトフォローアップ研修会開催 年1回
 - d) 認知症フォーラム 年1回
 - e) 認知症講演会 年1回
 - f) 八戸市あんしんカード事業（定住自立圏）
 - g) （定住）高齢者福祉合同研修会
 - h) 生活支援サポーターの養成 3地区で開催

(8) その他

- ① 地域密着型サービス運営推進会議参加 年40回

平成26年度八戸市地域包括支援センター事業計画

チームアプローチ
(保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー)

八戸市地域包括支援センター

ワンストップサービス

包括的・継続的管理

- 包括的・継続的なケア体制の構築
- 地域におけるケアマネジャーのネットワークの構築
- 日常的個別的指導・相談
- 支援困難事例等への指導・助言

権利擁護業務

- 成年後見制度の活用
- 虐待への対応
- 困難事例への対応
- 老人福祉施設等への措置
- 消費者被害の防止

総合相談支援業務

- 地域におけるネットワークの構築
- 実態把握
- 総合相談

介護予防ケアマネジメント

- 介護予防事業に関するケアマネジメント
- 予防給付に関するケアマネジメント

*客観的・中立的・包括的なマネジメント

介護予防事業

- 二次予防事業
- 介護予防の普及啓発
- 地域介護予防活動支援

任意事業

- 認知症高齢者見守り事業

26年度

26年度

26年度

26年度

26年度

26年度

- 包括的支援事業研修会(年3回)
在宅介護支援センター職員及び介護支援専門員対象
- 医療と介護の連携意見交換会(年2回)
- ケアプラン作成指導研修会(年1回)
- 地域ケアマネジャー事例検討会開催支援(年2回)
- 困難ケース対応等ケアマネジャーへの支援

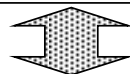
- 高齢者あんしん相談窓口対応(随時)
- 虐待ケア会議(随時)
- (仮)八戸市高齢者・障がい者支援ネットワーク会議
- 高齢者虐待防止出前講座
- 高齢者虐待防止研修会
- 市民後見推進事業

- 在宅介護支援センター推進事業(随時)
- 訪問や電話による高齢者や家族に対する相談や支援
- 高齢者見守りネットワーク連絡会の設置
- 見守りネットワークの普及・啓発
- 各地区民生委員児童委員定例会での包括支援センター説明会
- 地域包括支援センター関係職員打ち合わせ会
- 地域ケア個別会議

- 要介護のおそれのある元気アップ高齢者の介護予防ケアマネジメント
- 要支援1・2の介護予防ケアマネジメント

- 二次予防事業対象者把握事業
- 通所型介護予防事業
- 訪問型介護予防事業
- 在宅介護支援センター推進事業(介護予防普及啓発)
- 地区老人クラブ連合会会員等の介護予防教室
- 二次予防事業対象者把握事業における介護予防普及啓発
- 地域回想法の普及

- 認知症サポーター養成講座普及活動年間目標1,200人増(合計10,000人)
- 認知症サポーターフォローアップ研修会
- キャラバンメイトフォローアップ研修会
- 認知症フォーラム(委託)
- 認知症講演会
- (定住)高齢者福祉合同研修会
- 八戸あんしんカード事業(定住)
- 生活支援サポーターの養成



12在宅介護支援センター(日常生活圏域に1か所)

【委託業務】

- 総合相談 (2880件/年)
- 実態把握 (2765件/年)
- 介護予防プラン作成 (270回/年)
- 介護予防教室 (270回/年)
- 高齢者見守りネットワーク推進 (町内/年)
- ボランティア育成・活用 (110回/年)
- 地域回想法

※年間回数及び件数は目標値